



2021 年度 定時社員総会

議 事 録



一般社団法人 日本クレー射撃協会

2021年度 定時社員総会 議 事 録

1. 日 時 2021年6月30日(水) 13時30分～15時30分

2. 場 所 神奈川県立伊勢原射撃場 大会議室

3. 出席者 計24名

(出席者：14名)

相馬 正 (青 森)
三浦 正義 (秋 田)
高橋 一夫 (宮 城)
氏家 利明 (福 島)
渡辺 久雄 (栃 木)
加藤 修一 (神奈川)
菊本 哲也 (東 京)
大石 春美 (静 岡)
柏木 孝則 (三 重)
古川 竜則 (京 都)
難波 克哲 (兵 庫)
竹中 利明 (和歌山)
丸石 博 (島 根)
長谷川雅彦 (山 口)

(WEB出席者：10名)

藤沼 弘文 (岩 手) WEB
栗原 貞夫 (埼 玉) WEB
江野澤吉克 (千 葉) WEB
瀧根 隆幸 (富 山) WEB
川井 正巳 (奈 良) WEB
森 秀樹 (滋 賀) WEB
藤井 則行 (広 島) WEB
安田 岸雄 (愛 媛) WEB
塚 良雄 (福 岡) WEB
三谷千津男 (熊 本) WEB

委任者 計23名

◆坂井則寿(北海道)、平塚重治(群馬)、岸本健也(茨城)、

齊藤一幸(山梨)、布野兼一(長野) 小林輝夫(大阪)、

計6名が高橋義博(議長)へ委任

◆藤田茂男(山形)が高橋一夫(宮城)へ委任

◆黒宮彰(愛知)、安保裕(岐阜)、計2名が柏木孝則(三重)へ委任

◆木村富美夫(新潟)、白坂政治(石川)、藪芳朗(福井)、計3名が
瀧根隆幸(富山)へ委任

- ◆岩崎祐司（鳥取）、友國正明（岡山）、計 2 名が丸石博（島根）へ委任
- ◆長尾基裕（香川）、山内照明（徳島）、堀川博幸（高知）、以上 3 名が安田岸雄（愛媛）へ委任
- ◆野中敏郎（佐賀）、小渡兵衛（沖縄）、以上 2 名が三谷千津男（熊本）へ委任
- ◆柴山一（長崎）、三重野浩光（大分）、森英典（宮崎）、中園功一（鹿児島）、以上 4 名が不老安正（副会長）へ委任

4. 陪席（学識経験者理事、その他）

高橋義博（議長／会長）、不老安正（副会長）、本戸歳知（理事）、夏樹陽子（理事）、寺西寛（理事）、佐々木洋平（理事）、岩尾美和子（理事：WEB）、長瀬三代蔵（RT 会長）、大江直之（事務局長）、坂本強（事務局）、山田春美（事務局）

5. 議長及び議事録署名人

事務局長より、定款第 20 条に基づき本総会の議長を高橋義博（会長）が務める旨説明。

高橋議長より、新型コロナウイルス感染対策として WEB 出席を認め、会場を都内スクエアではなく伊勢原射撃場での実施とさせてもらった。ウイルス感染の影響が懸念される中、出席いただいた正会員へ謝辞があり、議事録署名人として、渡辺久雄（栃木）正会員と柏木孝則（三重）正会員の 2 名を指名し、議場に諮りこれを了承。

また、当協会の会議に初めて出席した佐々木洋平理事を紹介し、佐々木理事より出席者へ挨拶があった。

6. 3R 宣言唱和

議長指名により、菊本総務委員長が 3R 宣言の唱和を行った。

7. 報告事項

（1）2020 年度会員数について

事務局長より報告説明。

配布資料の通り、2020 年度会員数を年齢別にデータ化し、昨年度（2019

年度) データと推移を比較した。

若年層(20・30・40代)会員が若干減少し、高齢層(70・80代)会員が増加した。特筆すべきは、女性会員が総体的に増えたこと、コロナ禍にもかかわらず200名弱の新入会員が登録したことである。現状、女子会員がゼロの地方協会が昨年度より半減したが、まだ複数ある。青森国体より女性選手を必ず1名含めたチーム編成とすることを決めているため、該当する地方協会については女子会員の登録・育成に向けて取り組みをお願いしたい。

議長より、多くの新入会員を獲得した上位3団体へ感謝状・記念品・褒賞金を、多くの女性会員登録を増やした上位3団体へ特別賞として褒賞金を贈呈させていただく旨説明。簡易な贈呈式が執り行われた。

(新入会員表彰)

ランニング・ターゲット部会、埼玉県協会、石川県協会

(女性会員表彰)

岩手県協会、岐阜県協会、奈良県協会

質疑応答後議長が議場に諮り、報告事項(1)は了承された。

(2) 正会員の変更について

事務局長より報告説明。

新年度に伴い複数の地方協会より正会員の変更届が提出され、理事会の了承を経て新たに正会員となった方が3名居る。配布資料に表示された方が新しい正会員であり、その中で本総会へ出席されている方が居るので紹介したい。

◇京都府 古川竜則会員

質疑応答後議長が議場に諮り、報告事項(2)は了承された。

(3) 2021 年度事業計画・収支予算について

事務局長より報告説明。

定款第 52 条に基づき、配布資料の通り、2021 年度事業計画・収支予算が去る 2021 年 3 月 24 日開催の第 7 回理事会で承認された。第 52 条では、直近の社員総会へ報告することが義務付けられているため、報告事項として説明させていただく。

配布資料に添って、各項目の実施予定事業を説明。収支予算については委員会毎に事業費・管理費の積み上げを行い、収支差額約 140 万円を予備費に充てている。

夏樹理事の意見もあり、現行公認射撃場の評価基準について事務局長より説明。従来の射撃場ランク分けは射面数のみを評価していたが、今後は女性会員や若年層会員を増やしていくことを念頭に改訂し、トイレ・更衣室・食堂・鉛散弾の回収・検査という評価項目を増やしている。

質疑応答後議長が議場に諮り、報告事項(3)は了承された。

8. 審議事項

(1) 2020 年度事業報告書(案)について

事務局長より議案について配布資料に添って説明。

また、本事業報告書案は理事会の承認を受け、理事会案として本総会へ上程されている旨説明があり、監事より提出された業務監査報告書の指摘事項 3 点を朗読説明。

- 1 今期は大幅な赤字決算が見込まれていたところ、予算執行を遵守し、コロナ禍においても黒字決算で終えることができたことを評価します。

次期予算編成は 10 月末頃から取組まれると伺っていますが、各専門委員会幹部方々も本部事務局と一緒に編成作業へ携わり、予算や事業計画の重要性をより深くご認識いただくようお願いします。

- 2 今期は日本政策金融公庫より 3,000 万円の長期借入(5 年)を行っております。来る 2023 年(令和 5 年)8 月より返済を行うことを

鑑み、次期より、長期借入金の返済計画を含めた予算編成を行うよう要望します。

- 3 年々順調に増えてきた会員数は、コロナ禍の影響により今期減少となりました。協会組織の安定・繁栄の観点から、各地方協会・部会において射撃教室の実施など、新規会員獲得への取組み（特に若年層会員、女性会員）を積極的に行い、会員数増に繋げていただくことを期待します。

質疑応答後、投票形式による採決の結果、理事会による上程案が承認された。

（投票結果：賛成 46 賛否辞退 1）

議長より賛否辞退であった広島県藤井正会員へ、辞退理由を確認。藤井正会員より、総会冒頭に理事会案を総会へ上程しているから、理事を兼務している正会員が議案に反対するなら理事を辞任いただく、と議長から高圧的な説明があり、これでは総会における自由な発言が阻害されると思って賛否を辞退した。議案に反対した訳では無い、と説明。

江野澤監事より、理事会で承認した原案を総会へ上程している以上、理事には正会員に対する説明責任があり、且つ、原案を総会承認いただく責務を負っている。自分らが上程した理事会案を総会で理事が反対することは道義的に許されないと説明し、事務局長より過去の経緯を補足説明。

議長より提案があり、後日、監事と広島県藤井正会員間で協議することを申し合せた。

（2）2020 年度収支決算書（案）について

事務局より議案について配布資料に添って、貸借対照表、正味財産増減計算書等を説明。11 月末試算では 1,200 万円を超える赤字収支が予想されたが、別配資料で示した様々な取組みを通じて 150 万円の黒字収支に転じることができた。

また、決算書補足資料として簡易な予算対比、前年度決算対比資料を添付した旨を補足説明。

相馬監事より、監事監査報告書について説明。

夏樹理事より、現在のタレント発掘事業（学生育成）について経緯説明を求める発言があり、事務局長より次の通り経緯説明。

当初、タレント発掘事業は、一定の年齢以下の選手を都道府県協会より推薦いただき、推薦された選手を伊勢原射撃場に集め、強化委員会が研修や実技指導にあたることを2年間行っていた。

その後、JSPO 第三期国体競技選定があり、当協会の若年層会員数が少ないことを指摘され配点が下がった。これを治癒する必要がある、理事会で協議の結果、協会の将来を見据えて学生会員を充実させる方法に転換し、学生連盟の建て直しを行った上で現在の学生育成事業に繋がっている。

質疑応答後、投票形式による採決の結果、理事会による上程案が承認された。

（投票結果：賛成 47 反対 0）

議長より、以上で報告事項、議案審議の総てが終了したことを告げ、出席各位への慎重審議に対して謝辞があり、閉会を宣した。

（閉会 15 時 30 分）

2021年6月30日

一般社団法人 日本クレー射撃協会

議

長

高橋 義博

(高橋 義博 自筆署名)



議事録署名人

渡辺 久雄

(渡辺 久雄 自筆署名)



事録署名人

柏木 孝則

(柏木 孝則 自筆署名)

